

令和7年度 福井県立金津高等学校 学校関係者評価書

議題

- ・学校評価書の成果と次年度に向けた課題のとらえ方が適切かどうか。
- ・成果と課題を踏まえた今後の改善策、向上策が適切かどうか。
- ・その他

御意見を伺った方々

学校関係者評価委員会：あわら市教育長（本校育成会代表）、芦原中学校長、金津中学校長
同窓会長、PTA会長、PTA副会長

御意見（○は委員様からの御質問等 ・は学校からの回答）

◇教育課程・学習支援

保護者については子供の学校生活が見えにくく、評価が低くなっているが、目標は達成できている。次年度も継続して取り組んでいくとよい。

○生徒の宿題や課題の取組状況を知りたい。

- ・教科にもよるが、おおよそ提出していると思う。未提出の生徒には声掛けなどして事情を聴きながら、対応している。真面目な生徒が多く、なんとか提出している状況だと思う。

○G o o g l e クラスルームの仕組みについて伺いたい。

- ・教科ごとや学年ごと、クラスごとにグループを作って、課題等の配信や連絡を行っている。

◇生徒支援

挨拶については、場に応じた実践ができていると評価できるが、保護者の前では恥ずかしさもあってか実践できていない生徒もいるのではないか。

学校行事への取組についての生徒の満足度は高く、達成できている。現高校生はちょうど小学校高学年からコロナ禍を過ごした世代だが、部活動や学校祭等の活動を通じて徐々に成長してきているといえる。

いじめ防止については、毎月アンケートをしており、早期把握に努めている。いじめ判明の際は、担任、生徒支援部や当該学年など学校全体で協力し、解決に向かっている。引き続き生徒の様子を注視し継続して支援していくことが望まれる。

○いじめはどのような内容か。また、SNSによる生徒同士のトラブルはないか。

- ・授業中や、部活動で心無い一言を言われたという案件がほとんどであり、ちょっとしたことがいじめの始まりになっている。本校はM i c r o s o f t フォームスでのW e b アンケート形式なので相談・報告がしやすくなっており、それをもとに当該生徒に面談して、数カ月わたって支援しながら解決に向かう事例もある。本人に状況を確認しながら取り組んでいる。

SNSに関する事例は今年についてはない。数年前にはあったが、アンケートによって初期の段階で事案をつかむことができたので、解決に向かうことができた。

◇進路支援

今年は土曜講座の代わりに行った大学入試対策講座や夏補習の実施日について変更があったが、生徒の満足度は高く前向きに取り組んでいるようである。一方、保護者の満足度は低く、保護者への周知が足りなかったようである。より一層生徒に声掛けするとともに、進路ニュースのHP掲載について、保護者メールにて周知したり、各学年の進路の流れを示した「進路ストーリー」を保護者に示して、進路実現に対する情報提供をするとよい。

○どの項目も高い指数で感心しているが、保護者の数値が低い。せっかくの素晴らしい取組なので、保護者にしっかりと周知できるよう工夫すると良い。

- ・PTAでアンケートをとり、はじめての大学進学を考える保護者にとって、大学入試は推薦など複雑でいろいろ

ろ教えてほしいという意見があった。

- ・生徒たちには、折に触れて情報提供しているが、そのことを保護者に話さない生徒もおり、改善していきたい。
- 一方で、SNSなどの危険性の情報提供もしていけるといいのではないかな。
- ・承知した。
- 「進路ストーリー」は非常に分かりやすい。
- ・学習のあり方や生徒指導観など現在の生徒と保護者の世代とは異なっていることもあり、なかなか取組のねらいが伝わりづらい場合がある。今以上に情報発信をしていきたい。

◇中高一貫教育

アンケートにおいて、各取組については好意的な結果が得られている。引き続き、取り組んでいくとよい。広報活動等の情報発信をわかりやすくさらに改善していくとよい。

- 来年度の中学3年生はどのような状況か。
- ・芦原中学校と金津中学校の両校を合わせて40名程度が入級する予定である。

◇保健管理

どの項目も目標を達成しており、継続して取り組んでいきたいが、不安なことや悩みがあるときに相談する人がいない生徒21名を1人でも少なくするために普段からしっかりと観察してほしい。毎月行うアンケートで、少しでも悩みを吐き出してもらえればよいと考える。

◇開かれた学校づくり

HPで学年だよりや進路ニュース等を掲載していたが、よくわからないという意見もあるので、改善するとよい。

- 地域の方やこれから高校に進学するような小中学生に向けて金津高校のすばらしさを伝えてはどうか。学校の取組をSNSで発信している学校もあるが、それはなかなか難しいということも伺っている。今年の入試は定員割れしているが、地域向けの金津高校の取組を情報発信ができるかよいのではないかな。あわら市役所が取り組んでいるSNS（インスタグラム等）に取り上げてもらい、市内外に広く発信してはどうか。市役所（政策広報課）に声掛けをすれば、適宜取材にも応じてくれる。
- ・承知した。

◇読書支援

朝読書の意義を今一度生徒に考えさせるなど生徒の実態に合わせた形で取り組んでいる。金津高校の特色として根付いていくように工夫するとよい。

書籍の購入について、生徒のニーズや教員が本当に必要としている書籍を調査して検討したり、電子書籍等の導入も検討したりして利用促進を図るとよい。

- 朝読書の取組には感心している。中学校でも取り組んでいるが読書率がなかなか上がらない。年に1冊も読まない生徒の状況や図書購入の予算について知りたい。
- ・不読の生徒について、昨年度のアンケートで1冊も読まないと答えた生徒は27%、福井県普通科系高校の平均は45%である。
- ・中学校は30%である。
- ・朝読書を読書とみなしていない生徒もいるかもしれない。また、朝読書をしていても完読しているかどうかはわからない。
- ・予算について、定期購読で決まっているものがあり、生徒たちが購入できるのは非常に少ない。教科の先生と生徒にニーズが合うものを調べて購入していくことが課題である。
- 図書館に読みたい本が揃っているかの評価項目について、まったく本に興味がなく、図書館に行っていない生徒は、C：あまり揃っていない。D：揃っていない。にチェックしてしまうのではないかな。E：読まない。という選択肢があれば、そこにチェックする生徒が多数いるのではないかな。
- ・改善する。

◇探究支援・情報支援

課題探究活動を通して、教員は生徒の課題解決能力の成長を促しているといえる。データサイエンスについても継続して取り組んでほしい。この活動において、振り返りの回数を増やして自身の成長を実感できる機会を増やすとよい。

多くの生徒がICTを活用して探究活動に取り組んでいる。今後も福井大学等の外部の機関に協力を仰ぎ、データサイエンス講習会等を継続するとよい。

○データサイエンス講習会を実施したことで、生徒の取組みにどのような変化があらわれたか、具体的に教えてほしい。

・2年生で、扱ったデータをきちんと検定して有意性を確認しているグループがあった。引き続きこの種の講習会等を実施していきたい。

◇全体（総括）

学校評価書の成果と課題およびそれらを踏まえた今後の改善策、向上策は概ね適切である。

◇学校関係者評価を踏まえた今後について

・今年度の学校評価の結果および学校関係者評価に基づき今後の課題について改善・工夫を行い、次年度のスクールプラン、教育方針・教育目標に活かしていく。